

日立テレコムが北米地域初の通信速度 2.4 ギガビット/秒 GPON システムを受注

日立製作所(社長:庄山 悦彦/以下、日立)の北米における通信機器の開発、製造、販売、サービス会社である日立テレコム(USA)社(社長:大槻 兼市/以下、HITEL)は、このたび、米国の通信システム構築会社である Ledcor Technical Services (以下、LTS社)から、GPON(Gigabit Passive Optical Network)(*1)システム「AMN1220」を受注しました。通信速度 2.4 ギガビット/秒(以下、2.4Gbit/s)の GPON システムとして北米地域で初めて商用利用されるものであり、ITU-T(*2)に完全準拠している日立の「AMN1220」が採用されます。

(*1)GPON:光アクセスネットワークの途中にスプリッタを入れて光を分岐することで、複数の加入者宅に光ファイバーを引き込み、ギガビットクラスの通信サービスを提供するしくみ。

(*2)ITU-T:国際電気通信連合(ITU)で電気通信に関する技術の標準化を担当する部門。電気通信に関する技術を標準化し、勧告を公表している。

今回の受注は、今年8月26日にLTS社が米国オレゴン州の通信サービス企業であるComSpanUSA社とともに、オレゴン州バンドン市よりFTTP(*3)システムの設計から構築、運用までを受注し、そのGPONシステムとして日立の「AMN1220」が採用されたものです。2006年春からバンドン市では2.4Gbit/sのGPONシステムが北米地域で初めて商用利用されることになり、バンドン市および周辺地域における2,500の世帯や企業では、電話、高速インターネットアクセス、テレビ放送を同時に利用出来るトリプルプレイサービスが開始される予定です。

今回の受注は、世界の中でも2.4Gbit/sのGPONサービスをいち早く本格的な商用サービスを始める動きとして、今後のGPON市場において重要な意味を持っており、日立は、バンドン市での成果を足がかりに、全米を対象にGPONの更なる市場拡大を目指します。

(*3)FTTP(Fiber To The Premises):光ファイバーによる戸建て住宅、集合住宅、企業のビルなどへのデータ通信サービス。

Ledcor Technical Services について

1947年に設立されたカナダの建設会社 Ledcor グループの子会社。2003年8月設立。北米の通信事業者向けに通信システムを提供している。

日立テレコム(USA)社について

日立の米国における地域統括子会社である日立アメリカ社の子会社で、北米市場を対象とした通信機器の開発、製造、販売、サービス会社。1987年に設立。アクセス製品や光ネットワーク製品などを取り扱っている。 <http://www.hitachitelecom.com>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
